

▼アロフト錠 [内]

- 【重要度】 【一般製剤名】 アフロクアロン Afloqualone 【分類】 筋緊張性疾患治療剤
- 【単位】 ▼20mg/錠
- 【常用量】 60mg/日
- 【用法】 1日3回
- 【透析患者への投与方法】 腎障害患者は慎重投与には設定されていない (1)
- 【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎障害患者は慎重投与には設定されていない (1)
- 【特徴】 6-aminoquinazolinone 誘導体の筋緊張緩和剤。脊髄から上部の中枢にかかての広範囲の部位に作用して、筋緊張亢進状態を緩解させる。頸肩腕症候群、腰痛症、痙性麻痺に適用される。
- 【主な副作用・毒性】 ふらつき、めまい、眠気、頭痛、悪心、食欲不振、腹痛、胃部不快感、光線過敏症、発疹、そう痒など。
- 【安全性に関する情報】 自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させない (1) UV-A で修飾されたものが抗原性をもつ (Tokura Y, et al: Photochem Photobiol 60: 262-267, 1994) 光線過敏症の1例 (Ishikawa T, et al: J Dermatol 1994 PMID: 8064007)
- 【吸収】 90%以上 [ラット] (1)
- 【F】 資料なし (1)
- 【tmax】 1hr (1)
- 【代謝】 N-アセチル化に続く側鎖の水酸化と生成した水酸基のグルクロン酸あるいは硫酸抱合化により代謝 (1) UGT1A4, 1A3 が関与 (Kaji H and Kume T: Drug Metab Dispos 33: 60-67, 2005)
- 【排泄】 尿中回収率 22%, 尿中未変化体排泄率 3.5% [po, 32hr まで] (1) ラットでは腸肝循環する (1)
- 【t1/2】 3.3hr (1)
- 【蛋白結合率】 資料なし (1)
- 【Vd】 資料なし (1)
- 【MW】 283.30
- 【透析性】 資料なし (1)
- 【O/W 係数】 有機層に分配 (1)
- 【更新日】 20230511

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。